



秋竹小 学校だより

第116号 平成26年6月17日  
紫陽花をひらがなで書く日記かな

## 児童会主催 玉とぼし集会で楽しみました

11日(水)、児童会役員が考えた集会を行いました。題して、「玉とぼし集会」です。なかま班で協力して得点を競い合うものものです。二人組を作ってフラフープに入り、走って移動し、途中にある球を遠くに投げます。二人が息を合わせて球にたどり着き、さらに、遠くへ投げるためには、互いにタイミングを合わせることが大切。最終的に、何点のラインに球が到達したか、その合計で順位を競い合いました。

どのペアも声を掛け合いながら、または目と目で合図をしながら、より遠くへと球を飛ばしました。この集会のために、児童会役員は、朝早くから登校し、ラインを引いたり、球を並べたり、…。こうした陰の働きがあってこそ、楽しい集会になるのですね。児童会役員みんなに、感謝!!



## 先生の読み聞かせ

昨年度に引き続き、担任以外の教師による読み聞かせを行っています。12日(木)は、今年度2回目でした。担当者はそれぞれ、学年の子どもたちの顔を思い浮かべながら、どの本を読もうかと本を選ぶことをも楽しんでます。ある学年でのこと、担当の教師が行ったときには、子どもたちがそれぞれに本を読んでいた。「読み聞かせだから片付けてね」と声をかけたところ、一斉に立ち上がり、本を片付けに…。見ていると、本棚に殺到するのではなく、一列に並んで本を戻そうとしています。(まるで、アリの行列のように、お行儀よく)順番を守って本を返しに行く姿を見て、とっても嬉しくなりました。

## 音楽鑑賞会で プロの音楽を堪能

16日(月)毎年卒業式に向けての合唱指導でお世話になっている美口先生をお迎えして、音楽鑑賞会を行いました。オペラ歌手の美口先生、バイオリニストでNHKの番組にも出演されているしやる宗川さん、そしてオーケストラで活動しているしやるハープ奏者の田中さんの3人による「秋竹コンサート」です。プロの演奏家の音楽を生で、しかも本当に身近なところで聴くことができました。さらに、音楽の大切な要素である「リズム」「テンポ」「強弱」といったことについても、実際に音を耳にしながら学習することができました。指揮者になったり、お誕生日を全員にお祝いしてもらったり、バイオリンとハープの伴奏で全校合唱をしたり、…と、子ども参加型のコンサートということで、1年生から6年生まで、そして私たち大人も十分に楽しむことができた1時間でした。おしまいには、6年生から「アンコール」の声があがり、「アナと雪の女王」のテーマ曲を聴かせていただくことができました。



日常を忘れて、本当に豊かな気持ちになることができたひとときでした。

## 町探検に出かけました

13日(金)2年生が、生活科の学習で町探検に出かけました。校区の様子を観察すること、お店の様子を観察したりインタビューしたりして、工夫していることや喜びを学ぶことなどをねらいとして行いました。地図に従ってお店を訪ねていきますが、道中の安全確保のために、ボランティアの方が6名参加して下さり、子どもたちに同行していただきました。

お店では、事前に準備した質問内容をもとに、「お客さんは、一日何人来ますか」「人気のある商品は何ですか」など、インタビューをすることができました。お店の方も、一つ一つ丁寧に教えてくださり、子どもたちにとっては、生活科の学習だけでなく、人と接する時に大切なことを学ぶことができました。ご協力いただいたお店と保護者ボランティアのみなさんに感謝申し上げます。